

一年で一番日の短い日だから..

サンタさんは一番大切な人にプレゼントを用意しました。



合唱団ボイスフィールド

李 祥太ビッグバンド

不思議の国のクリスマス

2014

12/23 火
Cue

宝塚ベガ・ホール

(阪急宝塚本線 清荒神駅前)

14:00開演

13:30開場

2,000円(全席自由席)

未就学児のご入場はご遠慮ください。

1. 合唱団ボイスフィールド

Eatnemen Vuelie (Frode Fjelheim)
Muusika (Pärt Uusberg)
Uti vår hage (Hugo Alfven)
Sommarpsalm (Ealdmar Ahlen)
Bruremarsj fra Valsøyfjord/Aure (Henning Sommerro)
...他

指揮/西牧 潤

2. 李祥太ビッグバンド

Moon River (Henry Mancini)
The Christmas Song (Mel Torme)
李 祥太オリジナル曲
...他

ピアノ・リーダー/李 祥太

ビッグバンド、混声合唱と二人のソリストのための

3. クリスマスカンタータ 《A Christmas Cantata》

作曲/Nils LINDBERG (b.1933)

合唱/合唱団ボイスフィールド

演奏/李祥太ビッグバンド

指揮/西牧 潤

Soprano/大崎こころ

Baritone/有本裕之

主催・制作 合唱団ボイスフィールド★李祥太ビッグバンド

後援 JCDI 日本合唱指揮者協会

連絡先・お問い合わせ 070-5439-2194(実行委員会)

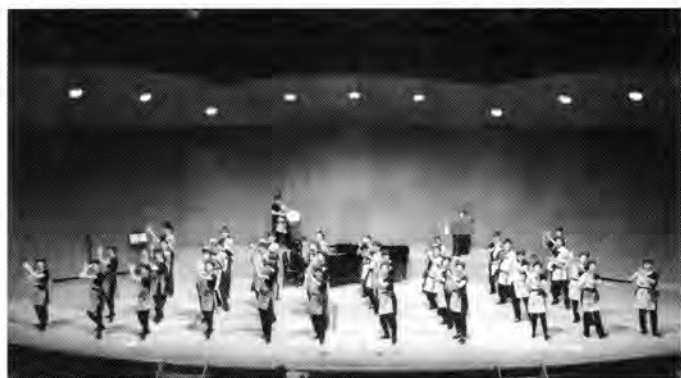
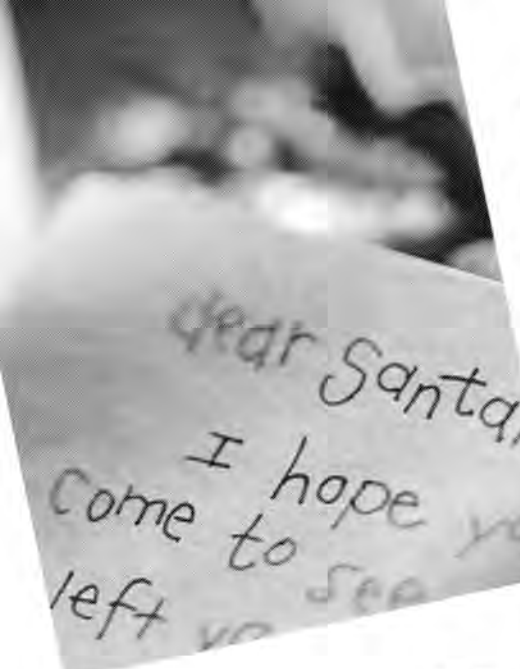
info30@voice.gr.jp (合唱団ボイスフィールド)

baseballpiano@hotmail.com (李祥太ビッグバンド)

A Christmas Cantata (Nils LINDBERG)

Nils LINDBERG (ニルス・リンドベリ)は1933年スウェーデン中部のダーラナ県に生まれました。叔父のオスカル・リンドベリなどの影響から教会音楽と民族音楽を聞いて育ち、王立音楽院でクラシックを学んだニルスの生涯を変えたのはストックホルム Nalenのジャズクラブでのジャズとの出会いです。音楽院でのLars-Erik LarsonやKarl Birger Blomdahlのもとでの勉強を終えると、50年代終わりにはニルス・リンドベリの音楽は、民族音楽、クラシックの和声とジャズのリズムや自由な即興が組み合わさったユニークなものになっていました。ニルスは"Concerto63"をはじめ、ジャズの録音を続け、ジャズグループとオーケストラのための作品も発表し続けました。

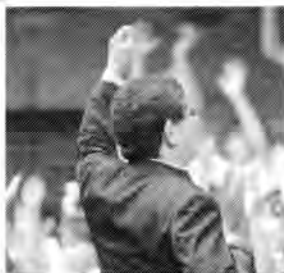
ニルス・リンドベリの教会音楽への興味はむしろ後から出てきたものでした。1990年にスペインのアルムニエカールを訪れた時に彼の好奇心は刺激され、1993年に「レクイエム」を生むきっかけになりました。「レクイエム」はスウェーデンのみならず海外で50回以上も演奏され、その成功により2002年のはじめにクリスマスカンタータに着手し、スウェーデン放送協会によってその年の12月にストックホルムの教会(Storkyrkan)で行われた初演が放送されました。カンタータでは英国のキャロルが多く用いられています。一方でダーラナの民族的旋律も盛り込まれています。スウェーデンの讃美歌「Glad dig du Kristi brud (Rejoice O Bride of Christ)」ではムーラ(ダーラナ県の都市)風の装いを施しました、また、ムーラの旋律に合うクリスマスの讃美歌を、英語の讃美歌集から探した結果、Christopher Wordsworth(有名な英国詩人ワーズワースのおい)の讃美歌「Sing O Sing This Blessed Morn」が選ばれています。



《合唱》合唱団ボイスフィールド

1977年7月、兵庫県芦屋市で産声をあげ、以後も芦屋に活動の本拠を置き演奏活動を続けています。“世界中を歌声の野原にしたい”という願いから『合唱団ボイスフィールド』と命名、年一回の定期演奏会を活動の中心に据え、定期演奏会の他にも合唱祭(兵庫県・芦屋市など)、クリスマスコンサートなどを通じて合唱をお客様とともに楽しむことを喜びに活動しています。

オーケストラや和楽器などの民族楽器など、さまざまな形態の音楽とのコラボレーションや世界中のさまざまな国々の合唱音楽を演奏するなど幅広いレパートリーを持っています。今回はビッグバンドとの共演にウキウキワクワクしています。



《指揮》西牧潤(にしまさ・じゅん)

兵庫県芦屋市生まれ。甲南大学理学部応用物理学卒業。指揮を小林研一郎、斎田好男の両氏に学ぶ。合唱団ボイスフィールド、宝塚少年少女合唱団、甲南大学グリークラブ、神戸ポートシンガーズ指揮者としての活動をベースとしながらオペラの指揮、オーケストラを伴う合唱作品の演奏、メサイア(ヘンデル)第九(ベートーヴェン)やオペラなどの副指揮、合唱指揮など、合唱にとどまらない幅広い演奏活動を目指し、また、芦屋市・宝塚市を中心とした地域の音楽活動の振興にも力を注いでいる。

また宝塚少年少女合唱団とアメリカ・フィンランド・ロシアなどへの演奏旅行を行う。芦屋合唱協会副会長。日本合唱指揮者協会会員。平成指揮者十人の会、21世紀の合唱を考える会合唱人集団『音楽樹』同人。



《演奏》李 祥太ビッグバンド

李 祥太(ピアノ、作編曲)が率いるジャズオーケストラで、李 祥太自身が作曲・編曲した作品を主に演奏します。2010年頃から毎年秋に神戸でライブをしてきましたが、今回はクリスマスコンサートに照準を絞って準備してきました。メンバーは関西で活躍中の若手ミュージシャンで構成。通常はサクソ(5人)・トロンボーン(4人)・トランペット(4人)・ピアノ・ベース・ドラム(各1人)という編成ですが、今回はChristmas Cantataのためにフルート・ホルン・パーカッションも加えた豪華19人編成で演奏します。

李 祥太が来年からアメリカへ音楽留学に出るため、当分の間おやすみを頂きますが、今回の“休暇前最後”のコンサート乞うご期待!



《ピアノ・リーダー》李 祥太(り・しょうた)

兵庫県神戸市生まれ。甲南大学経営学部EBA総合コース卒業。甲南中学・高校在学中、ブラスアンサンブル部に所属し、ジャズピアノを始める。2001年のスチューデントジャズフェスティバルで個人賞を獲得し、翌2002年に米パークリー音楽院のサマープログラムに招待生として参加。甲南大学進学後も関西のライブハウスを中心に精力的に活動。2007年からは就職で拠点を東京に移すも、社会人ビッグバンドでの活動の傍ら、2009年からプロのビッグバンド「京都コンポーザーズジャズオーケストラ」への作編曲提供を開始。5年間で40曲以上の作品を提供し、5枚のアルバムに収録(内1枚は12月リリース予定)。2015年1月より米国へ留学予定。